

技能評価システム移転促進(SESPP)事業

事業実施報告書【ベトナム】

◆2018年1月22日(月)～25日(木)

◆ベトナム・ハノイ

Posts and Telecommunications Institute of Technology (PTTC1)

◆情報配線施工2級評価者認定

◆情報配線施工2級技能評価トライアル

平成30年2月

1. 事業の全体概要

(実施期間) 平成 30 年(2018 年)1 月 22 日(月)～25 日(木)

①評価者認定(1/22～25) ②技能評価トライアル(1/23～24)

(実施場所) ベトナム ハノイ

Posts and Telecommunications Institute of Technology (PTTC1)

(職 種) 情報配線施工 2 級

(講 師) ・伊藤 進、島瀬 竜次

(受講者数) ①評価者認定 5 名 (参加評価者は 6 名、1 名は経験不足で認定対象外)

②技能評価トライアル 9 名

(実施日程)

| 日時 | 活動名(指導内容) |
|---|---|
| 1 月 22 日(月) 8:30～17:00 【評価者認定】 | 開講式 ① 評価者認定に係る説明 履歴書、申請書類の書き方 ② 評価者チェックシートの説明及び自己評価 ③ 試験会場設営 ④ 試験用機材のチェック・配列 ⑤ 実技試験タイムテーブルの作成 |
| 1 月 23 日(火) 8:30～16:30 【技能評価トライアル・評価者認定】 | 【技能評価トライアル・評価者認定】 トライアル準備 (9 名) 実技デモ、実技試験の練習・復習:(メタル) 実技デモ、実技試験の練習・復習:(光) ブリーフィング 評価者打ち合せ |
| 1 月 24 日(水) 8:30～16:30 【技能評価トライアル・評価者認定】 | ① 学科試験 (9 名) ② 実技試験 1(光、メタル)(9 名) ③ 実技試験 2(光、メタル)(9 名) ④ 採点・評価 |
| 1 月 25 日(木) 8:30～12:00 【評価者認定】 | 評価者チェックシートに基づくヒアリング 閉講式 |



2. 総評

◆ 総評

- ・認定申請者は6名であったが1名が評価者としてのトライアル経験が申請条件に満たないため、評価対象外となったが、1評価者として参加した。
- ・受検者は9名のうち8名が学生であった。
- ・試験部材に関しては、本来現地の物を使用するのが望ましいのだが、今回は2級でのトライアルが初めてであり、日本の部材を使用したトライアルになった。
- ・受講者全員が技能検定への取り組みを前向きにとらえており、疑問に感じたことはすぐに質問し理解することで、行程がスムーズに進んだ。
- ・最終日の評価者のヒアリングは1名ごとに行われ、ベトナムの情報配線施工の現状や部材の調達方法などが話し合われた。
- ・情報配線施工2級は、社会人・実務経験者の受検がふさわしいと感じた。今回の合格者に社会人が入っていたのもその証拠である。この検定制度は実務経験者のスキルアップに活用できる。
- ・総合的に判断して評価者は皆良くできていたが、役割分担が明確でないと感じた。評価者ミーティングは全員参加で行い、記録係を選任し必ず記録を残さなければならない。

◆ 今後の研修について

- ・受検者の工具管理の教育も必要。どんなに良い工具を与えられてもそのメンテナンスができていなければ意味がない。
- ・検定試験において今後は材料も工具も全てベトナムの汎用品を使うべきだと感じた。
- ・日本の検定試験は国際基準に準拠して作成されている。将来的にはその国の事情に適した検定試験を構築して欲しいが、決して難易度を下げず国際基準に準拠して作成しなければならない。
- ・評価者は常に客観的に、そして公正厳格に受検者を評価することそれが権威のある検定システムの構築に

つながる。

3. 受講者へのアンケート結果

◆評価者認定（評価者認定対象者 5 名）

満足度：大変満足=3 名、満足=2 名

役立ち度：大変役に立つ=4 名、どちらともいえない=1 名

継続性：是非継続すべき=4 名、継続すべき=1 名

◆技能評価トライアル（受検者 9 名）

満足度：大変満足=8 名、満足=1 名

役立ち度：大変役に立つ=6 名、役に立つ=3 名

継続性：是非継続すべき=8 名、継続すべき=1 名

